

# 11月20日(火)、21日(水)、22日(木) モザンビーク・ブラジル・日本「3カ国民衆会議」

この度、モザンビークとブラジルから約20名の農民・市民社会組織(弁護士・カトリック教会を含む)が来日し、第4回「3カ国民衆会議」を開催いたします。ブラジルとモザンビークは、日本の南米とアフリカにおける投資・開発援助の重点国ですが、現地で深刻な環境・社会影響が生じています。一方で、この2カ国を含む、グローバリゼーションの負の影響をもっとも深刻な形で受けた「南(途上国)」の先住民族や小さな農業を営む人びとは、それを乗り越えるための創意工夫を積み重ねてきました。そこで、第4回「3カ国民衆会議」では、課題に関する話をするだけでなく、モザンビークとブラジルの仲間たちの実践に学びながら、ともに「食と農の未来」を描き、課題を乗り越えるための方策を話し合いたいと考えています。ふるってご参加ください。(取材も受け付けています。最後に記載の問い合わせ先までご連絡ください。)

## ■11月20日(火)18:00~20:00【オープンイベント】 聖心女子大学4号館 4-2号教室



参加費: 資料代1000円(学生無料)

### 「日本の私たちと今世界で「大豆」をめぐる起こっていること: アグリビジネスによる油糧作物栽培の環境・社会的影響と住民の抵抗」

世界で生産されている「大豆」の大半は、油と飼料として使用されています。その多くが遺伝子組み換えのもので、工業的な大量生産のため、広大な農地でモノカルチャー(単一作物)栽培が行われています。大豆は「油糧作物」とも呼ばれ、その栽培にあたっては、世界中で多くの企業が森林伐採や土地収奪などを行っており、環境面でも社会面でも深刻な影響をもたらしています。日本との関係の深い「大豆」をめぐる世界で何が起きているのか、その主要な生産地であるブラジル・セラードの地域社会で何が起きているのかをコミュニティの側から具体的に紹介します。

## ■11月21日(水)15:00~20:40【国際シンポジウム】 聖心女子大学 4号館 ブリット記念ホール

### 第1部「グローバルな食&農の危機と『食の主権』~『私たちの食とたね』を未来に手わたす」 第2部「食・農・くらしと地域の自立へ~『犠牲の開発モデル』の限界を乗り越える」



参加費: 資料代各回1000円  
第1部・2部通しでの参加: 1500円  
(学生無料)

いま、世界各地で「食」とそれを支えてきた「家族による小さな農業(家族農業)」は深刻な危機に直面しています。その背景に、もうけを重視する投資や企業により構築されるグローバル・フードシステム、それを推進する各国政府や国際機関の政策、地球温暖化などによる異常気象があります。

その一方で、グローバリゼーションの負の影響をもっとも深刻な形で受けた「南(途上国)」の先住民族や小さな農業を営む人びとは、それを乗り越えるための創意工夫を積み重ねてきました。「食の主権」「たねへの権利」「アグロエコロジー」これらのビジョンや実践は、国境を超えた連帯を通じて世界に広がり、多くの素晴らしい変化を生み出してきました。

モザンビークとブラジルから来日する皆さんとともに、「食と農の未来」を描き、課題を整理し、これらを乗り越えるための方策を話し合いたいと思います。

## ■11月22日(木)17:00~19:00【緊急報告会】 参議院議員会館 B107



参加費: 資料代1000円(学生無料)

### 「日本とODA/投資:モザンビーク北部で何が起きているのか」

アフリカ・モザンビーク北部(ナカラ回廊地域)での日本の援助事業「プロサバナ」に地元農民が反対を表明してから6年が経過しました。この度来日するモザンビーク・ブラジルの20名の代表団は、事業下で悪化する現地状況を受けて、日本の官民が巨額の資金・税金を投じて開発を進める同地域で何が起きているのかを「ぜひ幅広い層の日本人たちに知ってほしい」ということで、この度【緊急報告会】を開催することにいたしました。かつて「人びとのため」だった援助は現在、官民連携を推進する日本政府により堂々と「投資・貿易のための援助」と謳われています。本当にこれでいいのでしょうか。日本の貴重な税金の使われ方はどうあるべきなのか。モザンビークの農民や市民社会の皆さんの声に耳を傾けながら、参加者とともに一緒に考えたいと思います。

11月20日(火) 11月21日(水) 11月22日(木)



各イベント  
サイト

※11月22日(木)は16:00~16:45

@参議院議員会館で

記者会見も行います。 ●「3カ国民衆会議」  
情報まとめページ↓



<http://www.ngo-jvc.net/jp/notice/2018/10/2018triangular.html>

<お問い合わせ・取材申込> 特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター(JVC) 担当: 渡辺  
TEL: 03-3834-2388 FAX: 03-3835-0519 Email: nabekama@ngo-jvc.net